

ふるどの



町花：山百合

議会だより

12月定例会

No.166

令和6年1月19日

議員定数を2人減の10人へ	2
可決した議案等	4
一般質問：道の駅事業など7議員が11問	9
まちの企業紹介：株式会社宇野製作所	18



上手に踊れたね！（12月2日ふるどのこども園生活発表会）



削減し10人へ

町議会では、近年の少子高齢化や人口減少を受け、10月より議員定数についての全員協議会を5回にわたって開催し、議論を重ねてきました。そして12月定例会で議員発議による議員定数削減の議案が上程され、審議の結果、原案可決となりました。

議員定数とは、市町村が条例で定めた議会の議員の定数のことです。議員定数は、議会が自律的に地域の実情に合わせて決めています。

全員協議会で協議された内容

議員総意の合意形成を目指す

議員の定数について、古殿町議会の総意として一定の答えを出すことを目標に始めました。

議員定数削減に賛成の意見

- 人口や有権者数の減少、財政のひっ迫など町の状況から判断すると定数減が妥当。
- 議員定数の削減を望む町民の声が多い。議会に反映させるべき。
- 定数を減らし、議員の資質を上げて少数精鋭で臨むべき。
- 議員自身の身を切る判断が必要。

議員定数削減に反対の意見

- 広大な面積を持つ古殿町の多くの町民の意見を議会に反映させることが必要。
- 町政のチェック機能が果たせるのか。
- 予算全体に占める議員報酬の割合は大きくない。
- 選挙まで3カ月しかない。慎重に議論すべき。
- 新人議員、特に女性や若者が立候補しづらくなるのでは。



議員定数を2人

提出者 佐藤一夫議員 ほか2名

古殿町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

○次回の選挙より、議員定数を「12人」から「10人」とする。

提案理由

○現在の定員となった平成24年から人口が約1,500人減少し、今後4年間の人口減少も避けられない。

○議員定数の削減を望む多くの町民の声に応える。

質疑

Q 定数を削減しても町民の声を町政に届けることができるのか。本当に話し合いはきちんとなされた上での発議か。

A 議論をした期間は短いですが、5回の全員協議会で様々な意見が出された。削減についてのメリット・デメリットは様々あるが、議員それぞれで判断いただくしかない。議論は尽くしたと思っている。

Q 定数を減らせば女性や若者の出馬が大変になるのでは。

A 影響がないとは言えないが、定数削減が女性や若者が出にくくなる理由の全てではない。意欲のある方は町政のために頑張ろうという意思を示すのではないかと。

討論

賛成

矢内 泰吉 議員

議員定数を減らすべきだという町民の多くの声を次の選挙から生かすべきであるとして賛成します。

鈴木 隆 議員

議員定数は議員自ら世情を鑑みて判断すべきと考え、われわれ議員が重い決断を持って身を切ることが、議会改革の1つの形であるとして賛成します。

佐藤 弘信 議員

2名減らしても大きな支障はなく、少数精鋭で臨むことで議員の資質をさらに高めていくことも必要だとして賛成します。

反対

野崎 喜彦 議員

令和6年の町議会議員選挙を見極めてからでも遅くはないと思慮され、時代の流れを見極め、慎重に進めるべき重要案件であるとの考えから反対します。

岡部 淳一 議員

議員定数の削減は今年度で決定するよりも、来年度、新たな体制で特別委員会等を設けて話をすべきという考えから反対します。

常盤 浩章 議員

多くの意見を議会に集約できるような体制を存続させることが議員の責務だと考えて反対します。

藁谷 直吉 議員

公権力への監視の力が弱まり、民主主義の後退を引き起こすことから、適切でないとして反対します。

賛成7 反対4 可決

12月定例会 議案審議

12月定例会は8日から14日まで、7日間の会期で開催されました。

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例や、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する人事案件など、18議案が原案のとおり可決されました。

「道の駅ふるどの」の土地を取得

議案第82号

財産の取得について

道の駅拡張に伴う用地について、15名の地権者の同意を得られたことから、取得について議会の議決を求めるもの。

質疑

Q これから取得する約1万2000平方メートルの土地以外に、道の駅で賃借している土地はどうする予定か。

A 今後、交渉を進めていきたいと考えます。

仮契約をしている条件と基本的に合わせる予定ですが、今後の交渉なので、現時点では申し上げる状況にはありません。

Q 平米単価に負担となる税金も含まれているのか。

A 平米単価4000円に税金は含まれておらず、別途計算し、上乘せして支出します。

Q 税額等を上乘せした平米単価は。

A 個人の税金等の条件が違うので、単価は一律になりません。

全員賛成

可決

議案第72号

専決処分の承認を求めるとして第5弾ふるどの応援商品券事業の実施

国の物価高騰対策として地方創生臨時交付金が創設されたため、町民1人あたり1万円の商品券配付を実施するもの。

Q 専決した理由は。

A 物価高騰対策は早期の着手が必要であり、国の交付金も見込めることから、専決処分をしました。

Q 1人1万円の商品券にするため、町の財源も充てるのか。

A 議員ご指摘のとおりです。

全員賛成

可決

人事案件

議案第83号

固定資産評価審査委員会委員の選任について



佐川 昌嗣 氏

《住所》

松川字八ヶ久保日向

《期間》

令和6年1月1日～

令和8年12月31日

全員賛成

同意



○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	1 鈴木	2 常盤	3 松崎	4 野崎	5 藁谷	6 佐藤(弘)	7 矢内	8 佐藤(-)	9 岡部	10 木戸	11 佐川	12 緑川
議案 第72号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度古殿町一般会計第4次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	P4に掲載													
議案 第73号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	県に準じ職員の給与等を改定するもの													
議案 第74号	古殿町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地方自治法の改正により勤勉手当の支給が可能となったため													
議案 第75号	古殿町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地方税法の改正に伴う出産被保険者の所得割額・均等割額の減免													
議案 第76号	古殿町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	法律の一部改正等に伴う所要の改正													
議案 第77号	古殿町簡易水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公営企業会計の地方公営企業法適用に伴い、使用料単価について消費税を外書きするもの													
議案 第78号	古殿町農林業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公営企業会計の地方公営企業法適用に伴い、使用料単価について消費税を外書きするもの													
議案 第79号	古殿町簡易水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公営企業会計の地方公営企業法適用に伴う条例制定													
議案 第80号	古殿町簡易水道事業及び下水道事業の剰余金の処分等に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	企業会計の決算剰余金の処分方針等を規定するもの													
議案 第81号	古殿町監査委員条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地方自治法の改正による所要の改正													
議案 第82号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	P4に掲載													
議案 第83号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	P4に掲載													
議案 第84号	令和5年度古殿町一般会計第5次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	普通交付税の追加交付などによる補正。5,627万6千円を増額し、45億7,741万6千円とする													
議案 第85号	令和5年度古殿町国民健康保険特別会計第3次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	保険給付費の増などによる補正。1,741万8千円を増額し、5億7,950万8千円とする													
議案 第86号	令和5年度古殿町簡易水道特別会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	国の補正予算に伴う補助金の追加交付などによる補正。2,300万円を増額し、1億5,694万1千円とする													
議案 第87号	令和5年度古殿町農業集落排水事業特別会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	国の補正予算に伴う補助金の追加交付などによる補正。3,800万円を増額し、2億8,641万6千円とする													
議案 第88号	令和5年度古殿町介護保険特別会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	県に準じた職員給与などの補正。161万3千円を増額し、8億5,849万7千円とする													
発議 第4号	古殿町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	
	P2～3に掲載													

視察
研修

総務常任委員会

東京都檜原村などを視察

総務常任委員会は8月28日から30日まで、群馬県榛東村と東京都檜原村で村政や林業などの視察研修を行いました。



榛東村の南村長から説明を受ける議員

群馬県榛東村の取り組み

○南村長は県内初の女性村長で、議会議員も5期務めており、女性ならではの視点で政策を行っていた。

○村は議会に対し説明責任を果たすため、臨時会や全員協議会を多く実施し、議会重視の姿勢を取っている。

意見

○高齢化による公共交通の課題など、当町と重なる部分も見受けられた。

○町と議会の関係は、全員協議会や臨時会を頻繁に開いて議論を重ね、情報共有がしっかりとされていた。

東京都檜原村の取り組み

- 村内の公共施設の木質化。
- 新生児に木のおもちゃを贈呈するウッドスタート事業を開始。
- おもちゃ美術館を拠点とした木材の活用、世代間交流、人材育成に取り組む。
- じゃがいもを使った焼酎で新たな特産品づくり。

意見

○村の施設に地場産材を活用し、新生児への木のおもちゃ贈呈など、木を活かした政策を積極的に推進している。

○おもちゃ美術館には多くの家族が訪れており、賑やかであった。

○村で焼酎が醸造されるには大変な苦労があったが、それをクリアし販売まで至った取り組みは参考になった。



檜原村役場で説明を受ける議員



おもちゃ美術館

岐阜県白川町などを視察

産業建設常任委員会は11月8日から10日まで、岐阜県白川町と岐阜県郡上市で移住交流サポートセンターや道の駅の運営等について視察研修を行いました。



移住交流サポートセンターで説明を受ける議員

岐阜県白川町の取り組み

- 空き家対策として移住交流サポートセンターを設立。
- 空き家所有者と移住希望者のマッチング。
- 大手バスの運行本数が大幅に減少したため、「オリジナルの公共交通」を目指して懇談会や実証運行を進め、10人乗りの予約制バス運行を開始。
- 議会が地域公共交通条例を制定。

意見

- 専門部署の組織立ち上げの必要性を感じた。
- 地域、事業者、行政の三位一体となった持続可能な地域交通を基本に据えるべきである。

岐阜県郡上市の取り組み

- 「道の駅明宝」の運営は第3セクター。
- 特産品の製造販売会社の資本金17%が自治会の所有。
- テナントは8店舗が入居している。
- テナント料は売上に関係なく面積に応じた月額。

意見

- 地域の行政区が株主という珍しい形態は、地域一体の方向性を示している。
- 道の駅ふるどのでも、中学生からの要望も多い「カフェ」や「ラーメン専門店」等のテナントを入居させてアピールしてみてもどうか。



「道の駅明宝」で説明を受ける議員



町道松久保鵜巣線を現地視察する議員

町道松久保鵜巣線を視察

産業建設常任委員会は町道松久保鵜巣線改良工事等を現地視察しました。その後、視察箇所について意見交換をしました。

意見

- 一日も早い開通を望む。
- 大型車両がすれ違えないため、待避所の整備をお願いしたい。

町村議会議員研修会

議会改革・議会活性化のための議員活動

10月23日に郡山市ビッグパレットふくしまで行われた町村議会議員研修会に参加しました。

福島県町村議会議長会が主催し、東京大学大学院法学政治学研究科教授の金井利之氏などを講師に迎え、議会改革・議会活性化のための議員活動について学びました。

内容

- 立法機関としての議員提案条例の推奨。
- 政策立案段階での議論。
- 多様な背景を持つ議員が必要。



会場の様子

石川地方町村議会議員研修会

福島復興の到達点と展望

11月7日に玉川村マーヴェラス末広で開催された石川地方町村議会議員研修会に参加しました。

石川地方町村議会議長会が主催し、福島大学共生システム理工学類教授の川崎興太氏を講師に迎え、原発事故から12年を経過した福島県の現状と展望についての講演やワークショップを行いました。



福島復興への講演を聴く議員

内容

- 復興によって何を回復し、どのような暮らしを再生するのか再考する必要がある。
- 住民が復興のあり方を議論し、地域のことについて共同で自己決定し、まちをつくりあげることが重要。

一般質問

町政を質す

- 町民の声を伝える
- 町政に生かす
- 町の考えをたず

一般質問は12月13日に7人の議員が11問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

鈴木 隆 議員 10	岡部 淳一 議員 13
(1) 道の駅拡張に向けた進捗状況について	(1) 視察研修地の施策内容とわが町の取り組み方
(2) 公共交通最適化業務の進捗状況について	(2) 町の進むべき将来にどう向き合うのか
(3) 空き家対策について	
佐藤 弘信 議員 11	藁谷 直吉 議員 14
(1) 令和6年度の主要事業と財源の確保について	(1) 支障木対策と耕作放棄地農地について
野崎 喜彦 議員 12	松崎 法通 議員 15
(1) 「道の駅ふるどの」の拡張計画の今後について	(1) 行政業務のデジタル化について
(2) 町の活性化対策への重要施策について問う	常盤 浩章 議員 16
	(1) 来年度に向けての財政運営について

道の駅拡張事業

Q 道の駅拡張に向けた進捗状況は

A まず基本構想策定に取り組みます



すずき たかし
鈴木 隆 議員

鈴木 地権者と契約後の拡張に向けた工程はどのように進めるのか。

町長 今後は具体的な事業着手を進めることとなり、まず、基本構想策定に取り組みます。



道の駅の店舗内

鈴木 基本設計を行う前に、町民や有識者を含めた検討委員会を立ち上げるべきと思うが、どのような考えか。

町長 事業を行う際に、町民の方などから意見を聞くことは大切であることから、検討委員会等の設置を検討します。

鈴木 道の駅の経営形態は、組織内容を含めて見直しはあるか。

町長 道の駅の整備に伴い、運営方法についても検討します。

公共交通最適化

Q 公共交通最適化業務の進捗状況は

A 運行管理の業務委託が検討課題です

鈴木 福祉バス、へき地バスを小型化した実証運行結果と検証は。

町長 総務課、健康福祉課、健康管理センター、社会福祉協議会で構成する町公共交通会議で検証の結果、車両の小型化は利用者の利便性の向上に結び付くと判断しました。

鈴木 主要となる路線は隣接自治体と協議しないと成り立たないと思うが考えは。

町長 福島交通の路線バスについては協議が必要となります。



小型化も期待される福祉バス

鈴木 運行体系を確定する前に基本方針が確立された後、行政区ごとの説明会、懇談会が必要と思われるが予定は。

町長 説明会開催が必要と認識しております。

鈴木 産業建設常任委員会視察研修先の岐阜県白川町では運行管理を民間事業者に業務委託している状況であったが、わが町は。

町長 現行の福祉バス等の運行は社会福祉協議会の事業として行っていますが、検討課題であるかと認識します。

鈴木 公共交通最適化業務はいつまでに完遂し、開始するのか。

町長 規制緩和等の国の状況を踏まえ、路線バスについては県地域公共交通活性化協議会の県中・県南地域部会が行う利便増進事業による路線の再編等が検討されており、その事業に合わせて進めます。

その他の質問

「空き家対策についての質問も行いました。」

Q 生活福祉向上のための
予算編成は

A 第7次振興計画を基本に編成します



さとう ひろのぶ
佐藤 弘信 議員

令和6年度を迎えるに当たり、町民の生活福祉の向上・町の振興を図る上で重要な予算編成の時期を迎えます。

予算編成には、裏付けとなる財源の確保が重要な課題であり、厳しい予算編成になるのかと思いをします。



西渡団地の建替予定地（前木地内）

財政は厳しさを増すことが想定されます。第7次振興計画の実現に向けて、効果的、効率的な予算編成を行います。

町長 全体的にバランスよく取り組むべきものと認識しています。

佐藤 道の駅の用地確保はどうなったか。

町長 地権者と仮契約が終了しています。今議会です。「財産の取得について」の議案を上げして、議決後に本契約となります。

佐藤 農業・林業の振興、継続事業をどのように進めていくのか。

町長 現在行っている事業について、継続的に進めてまいります。

佐藤 新年度の特筆すべき重要施策は何か。

町長 道の駅拡張事業や、西渡団地建替事業をはじめとする事業と認識しています。

佐藤 町民の要望をくみ上げて、どのように施策に反映していくのか。

町長 各担当課等において事業計画を作成し、予算編成を経て予算化、事業化することとしてお



実証運行された小型車両

ります。

佐藤 財源確保の見通しと、どのような努力を行うのか。また、債務の返済計画は。

町長 自主財源が乏しい当町においては、多くの財源を交付税に頼らざるを得ない状況にあります。町税等の徴収率の向上や、国・県補助金等の積極的な活用など、財源の確保に取り組みます。債務の返済計画については、令和6年度的一般会計においては、約7億2千万円の元利償還の見込みとなっています。財源としては、普通交付税や減債基金を想定しています。

道の駅事業

Q 「道の駅ふるどの」
拡張計画の今後は

A 造成計画や基本構想などを
順次進めます



のざき よしひこ
野崎 喜彦 議員

道の駅の拡張計画は、交流人口の拡大、地域経済の活性化に期待が持て、そして、多くの人たちが訪れてくれる「道の駅」を目指して造られることが、この町の明日のために重要な施策であります。

どのような「道の駅」を目指すのか、これからが本番です。

野崎 本契約の締結、土地の造成計画や基本構想などの工程はいつ示すのか。

町長 土地の契約は議会の議決後に本契約を結びます。工程については順次進め、必要に応じて説明します。



拡張される道の駅用地（線内が予定地）

野崎 農振除外と農地転用の手続きは。

町長 基本構想が固まった時点で進めます。

野崎 都市計画法に基づく開発許可の認可の予定は。

町長 基本構想が固まった時点で申請ができません。

野崎 事業認定を受けないことで町の負担とな

る所得税、住民税、国保税、介護保険料等の総額は。

町長 約1100万円です。

野崎 土地の造成や施設の建設等の財源は。

町長 土地は「土地開発基金」で取得し、ほかは該当する補助金や有利な起債を活用します。

町活性化対策

Q 町の活性化対策への重要施策は

A 子育て支援など町の魅力を情報発信します

少子高齢化が進む当町にあつて、若者がこの町に定着し、わが町を目指す若者を取り込むこと。そうした施策を最重要課題として位置づけないと、明日の古殿町が描けません。

野崎 移住・定住策の次年度の取り組みは。

町長 フォレストタウン上町の販売促進、子育て支援などの町の魅



賑いを見せる街中（竹貫地区）

力を情報発信します。

野崎 「地域公共交通システム」はどう構築するのか。

町長 路線バス再編等の事業の進捗に合わせて進めていきます。

野崎 空き家対策の専門部署立ち上げの考えは。

町長 現時点では現在の部署での対応を考えております。

町づくり



おかべ じゅんいち
岡部 淳一 議員

Q 視察研修地を踏まえた町の取り組み方は

A 今後検討を進めます

岐阜県白川町の移住定住・コミュニティバスの施策、岐阜県郡上市の道の駅を視察しました。次の点について伺います。

岡部 白川町の移住定住促進は、空き家の調査、空き家バンク設立、サポートセンター設立と概ね5年で体制を整えました。わが町の実施体制は。

町長 地域整備課が担当しておりますが、今後役場内で検討を進めます。

岡部 コミュニティバス(デマンド)は目を見張る早さで対応され、町営有償旅客運送に乗り出しています。わが町はいつまでを目的にシステム構築・実施になるのか。



白川町のコミュニティバス

町長 実証運行の検証、福島交通との協議、行政区ごとの説明会、民間事業者委託は検討課題であり、規制緩和や路線バスの再編などに合わせて進めます。

岡部 道の駅比較はできないが、テナントブースが大盛況だった。検討委員会設置はいつごろになるか。

町長 設置を検討していきたいと考えます。

町の将来



拡張事業により活性化が望まれる道の駅

Q 町はどのように変貌するのか

A 人口減少・少子高齢化が進むと考えます

特別な観光地でもない自治体は過疎の一途をたどっています。この責任は国にあります。異次元の対策など語ってもどうにもなりません。しかし町においては住民福祉の拡充に取り組みなければなりません。そこで伺います。

岡部 今後、町はどのように変貌すると見ていますか。

町長 人口減少・少子高齢化が進むと考えます。

岡部 変わっていく、変わらざるを得ない町の現状にどう立ち向かいますか。

町長 住んでよかった、この町に住みたいと思ってもらえる町づくりを進めます。

岡部 町の振興計画で対応できると思いますか。

町長 状況に応じ、その対応はできるものと考えます。

岡部 町長の任期中に取り組みべき課題は何ですか。

町長 大きな課題として、「道の駅の整備」と考えています。

岡部 高校生等の通学費助成、奨学金の減免一部支給、免許返納者支援、高齢者補聴器購入助成、リフォーム支援は実施しますか。

町長 今後、検討します。

支障木対策

Q 倒木で交通障害となった場合の対応は

A 業者や職員が除去しています



わらがや 直吉 議員

藁谷 町は支障木や公道上の雑草を除去しているが、毎年何件くらいあり、距離は何キロ、面積、費用はいくらか。

町長 支障木は11件で費用は354万5千円です。除草9路線は距離30・2キロメートル、面積が約9万697平方メートルで、費用は694万2千円です。

藁谷 倒木や日陰の影響による路面凍結で交通障害になった場合、どんな対応をしているのか。

町長 倒木は業者や職員による除去を行い、路面凍結については、区

長を通じた融雪剤の配布や、業者が職員による車両散布で対応しております。

藁谷 公道脇の樹木が伐採された場合、公道から5メートル以上後退して植林するように推奨する考えは。

町長 支障木の伐採された場所においては、植林されていないと認識しております。

藁谷 町道沿いに針葉樹を植林しない、景観を明るくするために景観条例を制定する考えは。

町長 今後、検討してまいりたいと思います。

藁谷 耕作放棄地の雑草が公道上に伸びてきたとき、どんな対応をしているか。

町長 町道等の敷地内であれば除草等を行っています。

藁谷 町内の耕作放棄地などに、太陽光発電施設設置、土砂や廃棄物などが搬入された場合にどんな対応をしているのか。

町長 耕作放棄地は農

地であり、農地以外で使用する場合には農地転用許可が必要です。また、土砂を搬入する場合はかさ上げの届出が必要となります。無断で行われた場合には、調査を行い、

県との連携を図りながら行政指導等の対応が必要になります。



事業者によって行われる除草作業

行政デジタル化

Q 行政業務のデジタル化の状況は

A オンライン化で手続きの簡素化を進める考えです



まつざき のりみち 松崎 法通 議員

松崎 住民による各種の行政手続きの簡素化をどう考えているか。

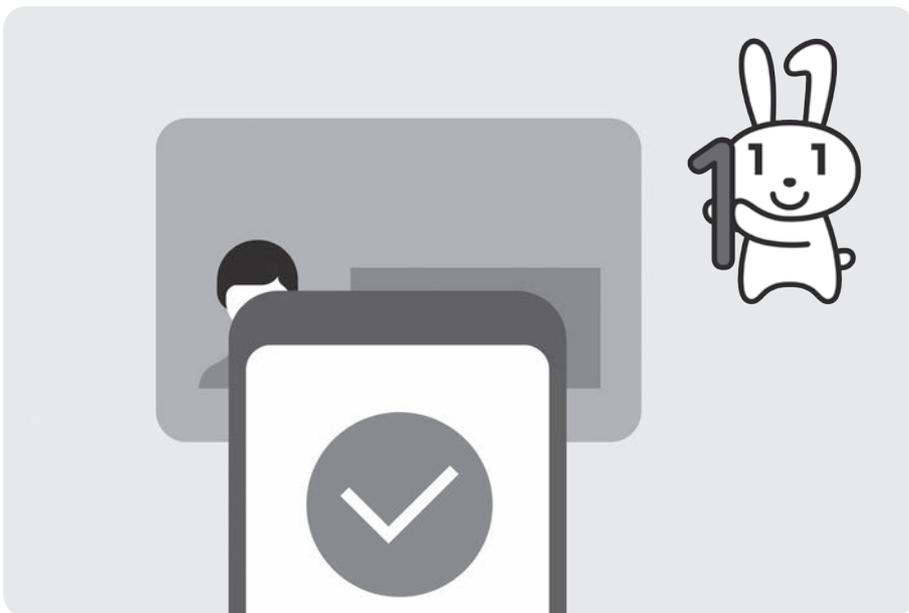
町長 2036名です。

松崎 令和5年3月31日時点のマイナンバーカードの取得者数は。

町長 ほとんどの業務はパソコンを使った事務処理で、国・県に対する調査、報告等もメールで対応しています。

松崎 庁舎内のオンライン化はどのくらい進んでいるのか。

町長 団塊の世代の人たちが後期高齢者となり、各職場からリタイアした結果、人手不足が深刻で、行政業務のデジタル化は不可欠として伺います。



マイナンバーカードを使ったオンライン申請が可能となります

町長 児童手当・母子保健関係の手続きなど27手続きをオンライン化し、今後も手続きの簡素化を進める考えです。

松崎 書類の電子化、ペーパーレス化はいつごろからか。

町長 取り組み事例等の情報収集を行っており、導入について検討している段階です。

松崎 職員1人あたりの業務量が増加する中、行政サービスの利便性の向上はどのように考えているのか。

町長 デジタル化が進む中、職員、住民双方にとって簡単にサービスが享受できる環境整備が進んでいます。

松崎 デジタル人材の確保、職員の研修など、人材育成を考えているか。

町長 デジタル人材は不足している状況で、人材確保は難しい状況です。研修を通して職員がスキルを身につけることが必要と考えています。



オンライン会議に参加する職員

財政運営

Q 来年度に向けての財政運営は

A 現在は各課からの予算要求時期です

国および地方においても然り、予算の歳入・歳出の財政運営は国民、そして町民にあつても一番大切なことばかりか、困難で内容も含め関心があり、民意を預かる我々議員にあつても、慎重審議の題材と認識しております。そこで伺います。



ときわ 常盤 ひろのり 浩章 議員

常盤 来年度の一般会計予算の見込額について伺います。

常盤 来年度の歳出見込について伺います。

常盤 来年度の特別会計予算の見込額について伺います。

町長 現在、各課からの予算要求時期であり、いずれの質問も見込額を示すことはできない状況にあります。

常盤 来年度の歳入見込について伺います。



今春にも予定されているフルドノタイム

選挙運動費用の一部が公費負担されます

今年3月の町議会議員選挙では、町議会議員選挙としては初めて、立候補者に対し選挙運動費用の一部が公費負担されます。

主な内容は次のとおりです。なお、金額は限度額です。

選挙運動用自動車の使用

- [借入] 1日あたり 16,100円
(運動期間5日分で 80,500円)
- [燃料] 1日あたり 7,700円
(運動期間5日分で 38,500円)
- [運転手] 1日あたり 12,500円
(運動期間5日分で 62,500円)

選挙運動用ビラの作成

1枚あたり7円73銭
(限度枚数 1,600枚で 12,368円)

選挙運動用ポスターの作成

1枚あたり 11,083円
(限度枚数はポスター掲示板数 30枚で 332,490円)

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 河川の堆砂除去の働きかけは

Q 令和5年3月一般質問から

河川の堆砂による堤防からの氾濫も懸念される中、県に対して働きかけはどのようにしているのか。

A 町長答弁

県の出先機関と意見交換などを通じ、要望などを行う機会を捉え、堆砂除去の要望を行っています。

大雨が降ったときには、川に堆砂があると心配だね。



しみもっちー

平成27年の
中学生議会で誕生！

その後の
対応

10月から県による堆砂除去が始まりました。
 鮫川において上流から下流へ向かって順次堆砂除去が行われています。



松川字西渡地内の工事現場

まちの企業紹介

No.14

● 今回紹介するのは、「株式会社宇野製作所」の皆さんです。 ●

***会社の設立を教えてください。**

1993年に古殿工場を新設。

1929年に創業者である宇野徳祐と現会長がノートに線を引く機械を造ったのが始まりです。その後、ノートや伝票類を印刷・製本する機械やファイル、バインダー製造機などの「特注機械」を造ってきました。1980年代にはパスポートや紙幣の印刷機の製造に参加。現在の主力商品になっています。

1993年には古殿町の誘致を受け古殿工場を新設、本社工場（神奈川県茅ヶ崎市）と併せ生産能力の拡大に努めています。



ノートなどを製造する機械



納品した機械で作られた製品

***会社における基本的な考え方は何ですか。**

「技術への挑戦」と「効率化」の両輪を。

創業以来一貫して「世の中にあるもの」を生み出し続けてきました。「失敗を恐れずチャレンジする」をモットーに、新しいデバイスやテクノロジーも柔軟に取り込んでできました。

これからも「技術への挑戦」と「効率化」を両輪に、より高収益で強い企業への成長を目指します。



(株) 宇野製作所の皆さん

**“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか**

次回の
定例会

3月 月上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第166号
令和6年1月19日発行

18